

2019年11月15日

日本ユニシス  
 地域金融機関向けサービスプラットフォーム  
 「LEAPS for Banking™」提供開始

～ 金融サービスの拡大と新サービスによるプロフィット向上、コスト配分の最適化を実現～

日本ユニシスは、地域金融機関のプロフィット向上とコスト配分最適化に寄与するサービスを包含したプラットフォームとして、「LEAPS for Banking (リープスフォーバンキング)」を提供開始しました。

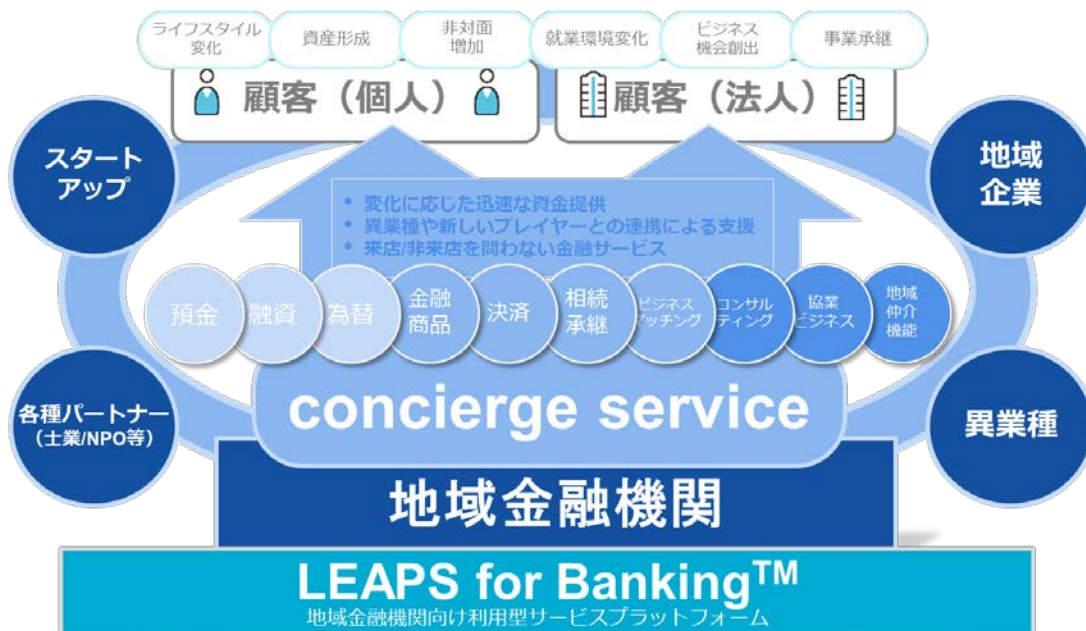
日本ユニシスは、地域金融機関向け利用型勘定系サービス「OptBAE™ (オプトベイ)」と既に提供を開始している「オープンAPIサービス」、法人顧客コンシェルジュサービス「CoreBAE™ (コアベイ)」、新事業創出プラットフォーム「Financial Foresight Lab®」とともに、地域金融機関による地域の生活者や企業のニーズに沿ったサービス提供を支えるプラットフォーム「LEAPS for Banking」として、地域金融機関のビジネスモデル変革と新たな収益機会の創出を支援していきます。

なお「OptBAE」は、信用金庫最大手の京都中央信用金庫での採用が決定しています。

【背景と概要】

地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口減少、少子高齢化による就業環境の変化、低金利長期化による預貸収益の低下、デジタライゼーションの進展による異業種参入、技術革新など、めまぐるしく動いています。地域金融機関の取引先である中小企業においても、従来の預貸を中心とした金融サービスに加え、事業承継や異業種協業などによる収益機会創出の本業支援のコンサルティングニーズが増加し、個人顧客においてはライフスタイルの変化によって、時間や場所にとらわれない金融サービスや安定的な資産形成の需要が高まっています。

地域金融機関がこれらのニーズに応えていくためには、取引先の事業機会変化に応じた迅速な資金提供、異業種や新しいプレイヤーとの連携による顧客の資産形成支援や本業支援、来店/非来店を問わないサービス提供など、コンシェルジュのようにきめ細かいサービスが求められていくものと考えます。あわせて、このような新たなサービスを行う経営資源を捻出するため、コスト最適化に取り組むことが喫緊の課題として挙げられます。



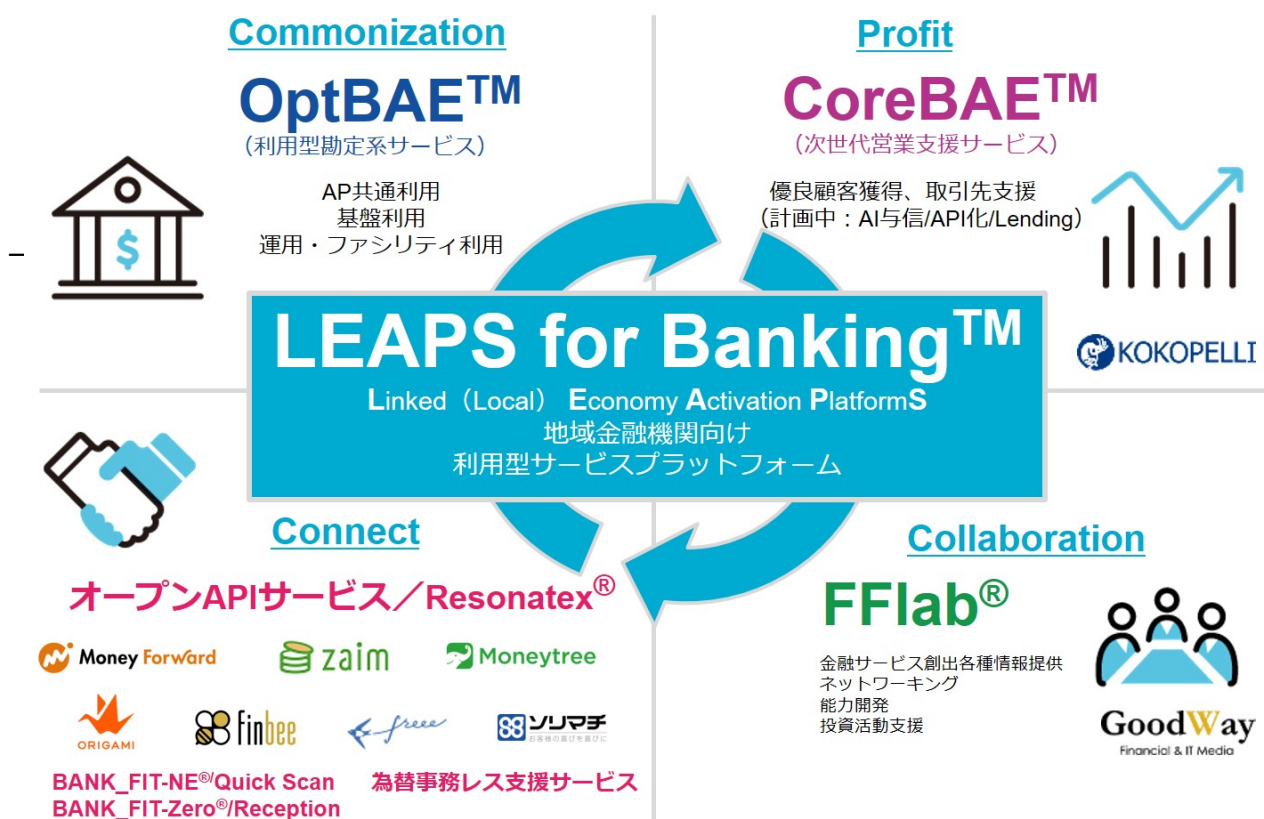
日本ユニシスは、このような地域金融機関のニーズや課題に対応すべく、ICT・事務コストの最適化や新サービス提供によって新たな収益創出を実現するサービスプラットフォームの提供を検討し、このたび、「LEAPS for Banking」として提供開始しました。このサービスプラットフォームをもって、地域金融機関のニーズ実現および課題を解決し、その取り組みを通じて地域金融機関と共に地域経済の活性化に寄与していきます。

### 【新サービスの構想「LEAPS for Banking」】

「LEAPS for Banking」は、地域金融機関における新サービス拡大や新サービスによるプロフィット向上を目指しながら、サービスにおけるコスト配分の最適化を進めていくものです。

日本ユニシスが長年培った地域金融機関における業務やシステム構築のノウハウをもとに、4つの視点でサービスを拡充させていきます。

1. 地域金融機関のコストを最適化するための「Commonization（共通化）」していくサービス
2. 地域金融機関の「Profit（収益）」創出に寄与するサービス
3. お客さまや他企業をつなぎビジネスエコシステムとして「Connect（接続）」するサービス
4. 企業同士が新しい価値を創出する「Collaboration（協働）」の場を提供するサービス



### 【「OptBAE」の特徴】

地域金融機関において、勘定系システムは戦略領域の要であり、ICT・事務コストの中で大きな割合を占めるものです。戦略分野としての位置づけを保ちながらコスト最適化の両立を図るべく、勘定系システムに必要な要素を分解して、共通的な仕様でサービスを提供します。

日本ユニシスは、システムの基盤や運用といった共通化が可能な要素を共通化することでコスト最適化を実現し、さらにコスト最適化を求めるお客さまには対しては、アプリケーションを共通で利用するサービスを提供し、地域金融機関の課題とニーズの解決を図ります。

## 【「オープン API サービス」の特徴】

勘定系システムの豊富な機能を他企業のサービスと連携させることを可能とするオープン API サービスを 2018 年度から提供しており、バンキングアプリで残高照会を行う参照系 API を皮切りに、資金移動やスマホ決済サービスで決済代金を引き落とす更新系 API を順次提供しています。

日本ユニシスは、地域金融機関と異業種や新しいプレイヤーのビジネスをつなぎ、生活者利便性の向上や地域経済のさらなる活性化を進めていきます。

## 【「CoreBAE」の特徴】

CoreBAE は、地域金融機関の保有する取引先の取引データや財務データを AI で分析することにより、地域企業に対する地域金融機関の提案活動の効率化・高度化を図ります。

日本ユニシスは、CoreBAE の提供により地域金融機関の収益向上に寄与するとともに、地域企業の成長機会創出や経営課題解決を実現することにより地域経済のさらなる活性化を実現します。

## 【今後の展開】

日本ユニシスは、今後も「LEAPS for Banking」上のサービスを充実させ、地域金融機関のビジネスモデル変革と新たな収益機会の創出を支援し、地域金融機関の本業支援や地域経済の活性化を推進していきます。

以 上

### ■ 関連リンク：

2018 年 3 月 9 日付 ニュースリリース

日本ユニシス 新事業創出プラットフォーム「Financial Foresight Lab」を創設  
～ 金融機関の異業種協働を推進し、革新的な金融サービスの創出を加速 ～

[https://www.unisys.co.jp/news/nr\\_180309\\_fflab.html](https://www.unisys.co.jp/news/nr_180309_fflab.html)

2018 年 4 月 20 日付 ニュースリリース

日本ユニシス、信用金庫向け勘定系システムの「オープン API サービス」を開始  
～ Fintech サービスとの連携による生活者の利便性向上や地域経済の活性化を促進 ～

[https://www.unisys.co.jp/news/nr\\_180420\\_openapi.html](https://www.unisys.co.jp/news/nr_180420_openapi.html)

2019 年 2 月 1 日付 ニュースリリース

日本ユニシス、法人顧客の取引データを AI で分析し、中小企業の成長機会創出・経営課題解決を実現！  
～ 地域金融機関向け法人顧客コンシェルジュサービス「CoreBAE（コアベイ）」提供開始 ～

[https://www.unisys.co.jp/news/nr\\_190201\\_corebae.pdf](https://www.unisys.co.jp/news/nr_190201_corebae.pdf)

※ LEAPS for Banking、CoreBAE、OptBAE、Financial Foresight Lab、FFlab、Resonatex、BANK\_FIT-NE、BANK\_FIT-Zero は、日本ユニシス株式会社の商標または登録商標です。

※ その他記載の会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)